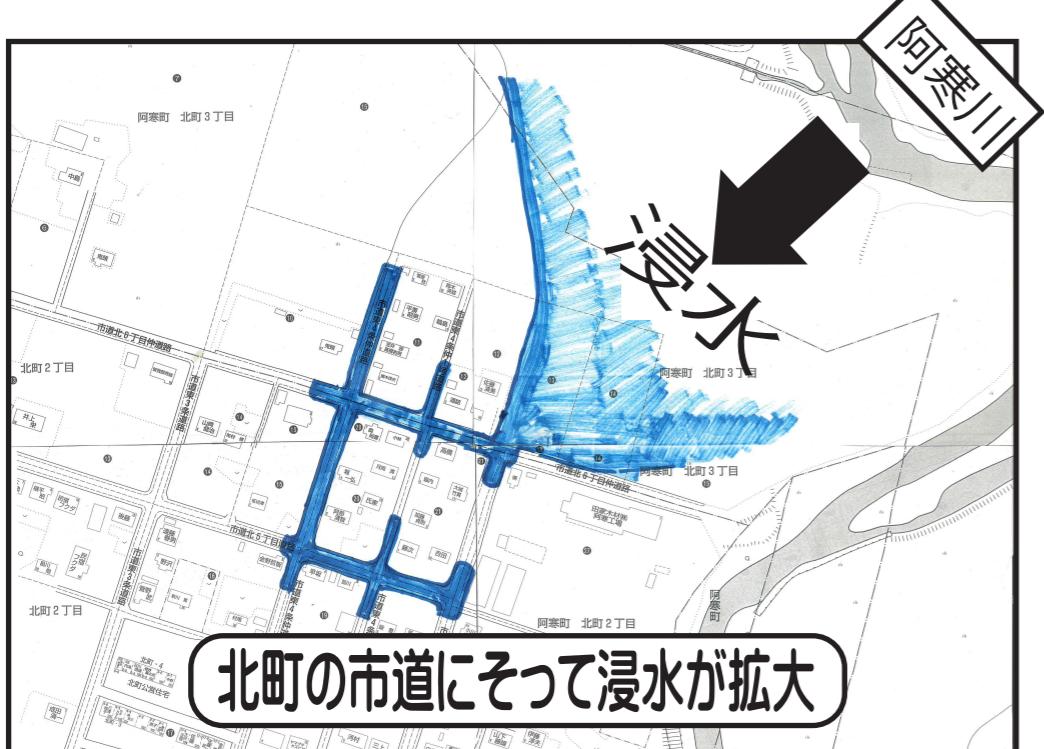


11月10日
大雨被害

阿寒川に洪水警報、大樂毛・阿寒の全域に避難指示



北町で道路への浸水をポンプで排水

阿寒町北町近くの溢水か所を調べてみました。下の写真のあたりが溢水した場所と思われます。数メートル水位が上がれば、簡単に浸水を起こしてしまいそうな感じです。一応、浸水防止で土嚢が並べてありますが、それも一段のみ。異常な水量となつたら、止めるることはできそうにありません。



阿寒川の河口付近でも大変な増水が見られました。上の写真は、まりも団地から大樂毛橋を望む方向を撮ったものです。いつもは広く河川敷がありますが、今回は、河川敷全部が水でいっぱいになっていました。

被災者からは、「今後の見通しがわからず不安だ」などの声をいただき、情報提供の方など、考えるべき点もあるようです。また、避難指示の対象世帯に比して、実際の避難者がほんの一部にとどまっていたことも、今後の課題とななければなりません。

阿寒川の洪水対策を繰り返し提言していました。車いすの方や一歳の子ども連れの方も避難していく、みなさんと一緒に心配の表情を浮かべていました。避難所の職員は、感染防止用具を準備、昼食にカロリーメイトとミネラルウォーターを配り、アルファ米のわかめごはんを用意したりと、忙しく動き回っていました。

北町では、阿寒川からの溢水（いつすい）で道路に水が押し寄せていました。（左の地図を参照）村上議員が現地に到着すると、行政センターの職員や建設会社の社員などがすでに対応で大あらわ。村上議員は作業する人たちにお礼を言いながら、心配そうに道路に出ていた住民から被害の様子を聞いて回りました。

前日から降り続いた大雨で、阿寒川に洪水警報が発令され、大樂毛地域と阿寒町北町地域の全域約1700世帯余りに避難指示が発令されました。



玄関前にはいち早く土嚢が積まれていました

この地域はたびたび、阿寒川の溢水が発生するところです。河道の改良も行われていましたが、結果として、まだ十分ではないということです。住民の中には、「何度も被害が出ているのに、行政はなにをしているのか」など、厳しい意見を寄せる方もおられました。

村上議員は、これまでも被害が出ているのに、行政はなにをしているのかなど、厳しい意見を寄せる方もおられました。

北町地域で溢水被害発生